

Architecture Course

建築コース

～明日の建築界を担う～

建築の先端技術を活用した現代建築物の設計や施工について学びます。
建築の設計をする建築士や現場の監督をはじめとし、一般大工の育成も目指しています。

建築科の主な共通科目

実習

木工、測量、施工図、積算の実技を学びます。

情報技術基礎

情報技術の基礎、及び表計算ソフトの操作方法などについて学びます。

建築計画

部屋の配置や窓の大きさ、照明設備など建物の内、外部の環境について学びます。

建築構造設計

地震や風によって建物に生じる力を試算し、安全な室内空間の設計について学びます。

生徒の声

私が球磨工業高校建築科を志望した理由は、将来、建築関係の仕事に就きたいと思ったからです。なぜ建築関係の仕事に就きたかったかというと、せっかく仕事をするのであれば、自分のした仕事が形として長い間残る物が良いと思ったからです。

球磨工業高校建築科は、毎日楽しく充実した高校生活の送れる学科です。図面を書いたり、覚えることなど難しい教科もありますが、個性豊かで、ユニークな先生方が優しく教えてくださるので、授業も楽しいです。

建築科 建築コース（3年） 松野 宏基（人吉二中出身）

私が球磨工業高校建築科を志望した理由は、テレビで見た女性の一般建築士を見てカッコいいなと思ったからです。建築関係の仕事は、男性ばかりの仕事だと思っていましたが、女性の建築士を見て、男女関係ない仕事なんだと思いました。

第二の理由として家の見取り図を見るのが好きで、自分も家の設計をしたいと思ったからです。球磨工業高校は、男ばかりで怖いイメージでしたが、みんな仲良く楽しいです。また、建築関係の仕事を目指している仲間がたくさんいるので、協力しながら学べます。

建築科 建築コース（1年） 吉田 吏甫（球磨中出身）

建築構造

建築物の構造法（木構造・鉄筋コンクリート構造・鉄骨構造など）を学習し、実際に活用していく能力を習得します。

建築施工

建設工事を行うにあたって、どのように建築物を適切な品質で、工期内に安全に工事を行い、設計を忠実に実現させていくにはどうすればよいのかの学びます。

建築法規

建築法規に関する基礎的な知識について学び、建築物の設計・施工・監理に活用する力を養います。



測量



木材加工



遣り方



建築構造



建築コースの工具箱の内容

私が球磨工業高校の建築科を志望した理由は、ものづくりに興味があり、建築関係の仕事に就きたいと思っていたからです。また、球磨工業高校は就職率が高く、いろいろな資格が取れるのも理由の一つです。建築科は普段はおとなしいけど、やる時にはやれるしっかりとしたクラスです。球磨工業高校は男子の人数が多いですが、女子も男子に負けないぐらい元気がよく、みんな仲が良いです。この学校で3年間頑張ればきっと将来役に立つことがたくさん学べると思います。

建築科 建築コース（2年） 赤池 朋花（相良中出身）

僕が球磨工業高校建築科を志望した理由は、建築科の特徴にあります。建築科は建築士や大工、設計などの職に就けて、自分が建てた建築物は、何十年、何百年とその場に残り、自慢できる場所が特徴です。

来年、球磨工業高校建築科に入学しようと考えている人、まだ、どの高校に進学するか迷っている人、悩んでください。たくさん悩んでから決めて下さい。そんないと高校にあきてしまいます。しかし、球磨工業高校の建築科はあきません。なぜなら、先生方が個性豊かで授業が楽しいからです。皆さん、球磨工業高校に入学してみてもどうでしょうか？

建築科 建築コース（1年） 田原 秀俊（湯前中出身）

Traditional Architecture Course

伝統建築コース

～匠育成～

全国で唯一のコースです。
日本の伝統建築について建築物の歴史や構造・技法などを学び宮大工や数寄屋大工、古建築修復者のエキスパートを養成しています。また、一般大工・木材加工者の育成も行っています。

建築科の主な共通科目

課題研究

テーマや目的の設定から学習のまとめ方、成果の発表方法までを生徒自らが考え、実践する科目です。

製図

木造住宅、鉄筋コンクリート構造の図面を手描きやCADを使った製図などについて学びます。

工業技術基礎

製図・木工・測量に関する実技の基礎を学びます。

生徒の声

私が球磨工業高校建築科を志望した理由は、日本の伝統的な建築について学べる伝統建築コースがあったからです。この学校では、経験豊富な先生方が、様々な実習を通して建築についてだけでなく職人や社会人としての心構えなどを時には厳しく、時には優しく教えてくださいます。不安や緊張もあると思いますが、高校3年間をより充実したものにできるように目標を持って1日1日を送りたいです。

建築科 伝統建築コース（3年） 高橋 拓志（泗水中出身）

私は幼い頃より木を使ったものづくりが好きで、中学生の頃は宮大工という職業に憧れるようになりました。きっかけは法隆寺や薬師寺などの古い建造物がなぜ現代まで形を留めているかということに強く関心を持ったからです。進路を決める上で、公立高校では日本で唯一伝統建築について学べる球磨工業高校へ入学するを決意しました。充実した実習や、道具に関する基礎基本がしっかり学べる所からです。実際に入学すると礼儀など基本的なことにも熱心な指導があり、とても良かったと思っています。学校生活では、常に目標を持ち続け様々なことに挑戦していきたいです。

建築科 伝統建築コース（2年） 須藤 聖一（北海道 屯田北中出身）

伝統建築コース独自の科目

伝統技法

木材に墨を打ち、削る、掘る、切るといった木材加工の技術を身につけます。

学年が上がるにつれ、専門性が増し、四方転びをはじめとした規矩術などを実習を通して学びます。

日本建築

木材の性質や接合の仕方など基礎の分野から、専門性の高い社寺建築や数寄屋建築を通して日本建築の本質を学んでいきます。



四方転び(伝統技法)



小屋組の説明



伝統建築コースの工具箱の内容

私が球磨工業高校を志望した理由は、伝統建築コースがあったからです。他にも行きたいところは何かありましたが、やはり宮大工をしている人たちは格好良かったので、私もこの人達になりたいと思いこの高校を志望しました。

球磨工業高校はすばらしいところなので、とても楽しめます。少し大変な所もありますが、頑張っています。

建築科 伝統建築コース（2年） 甲斐 悠希（高森東中出身）

自分が球磨工業高校を志望した理由は、小さい頃から大工に憧れていて、中学校2年生の修学旅行で見た五重塔に感動し、自分の手で五重塔などの伝統建築物を修理したいと強く思ったからです。そのためには、早くから専門的なことを学ぶのが一番だと思い球磨工業高校を志望しました。

球磨工業高校では週に一度伝統技法という授業があり、普通の工業高校ではあまり学ぶことのできない実習が豊富で、道具についても詳しく学べます。自分の夢が宮大工である方は球磨工業高校への入学をおすすめします。ぜひ、球磨工業高校へ来て下さい。

建築科 伝統建築コース（1年） 井之 利彦（佐賀県 西有田中出身）